

総合戦略進捗状況評価シート

基本目標1. 変化しつづける温泉観光地を目指す

施策名	重要業績評価指標 (KPI)	前期計画	当初値	目標値	実績値【R3】	実績値【R4】	令和4年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
(1) 地域ブランド調査における魅力度ランキング 10位以内 (2020年 11位)									
観光客数の増加	宿泊客数	○	309万人	325万人	170万人	249万人	観光ブランドプロモーションほか	新しい旅のスタイルに適応した誘客施策の促進	観光経済課
インバウンドの対応	外国人観光客数		34,950人	70,000人	207人 (暦年)	1,501人 (暦年)	Wi-Fi環境整備、飲食店トイレ洋式化、キャッシュレス決済推進事業、多言語音声翻訳機器導入促進事業	アフターコロナに向けた、海外プロモーションの推進 (TSJ及び美伊豆との連携によるプロモーション、ファム受入)	観光経済課

基本目標2. 稼ぐ力を高めることで若者の安定した雇用を創出する

施策名	重要業績評価指標 (KPI)	前期計画	当初値	目標値	実績値【R3】	実績値【R4】	令和4年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
(1) 市内従業者数 (事業所単位) 20,000人 (2016年 19,637人)									
労働力の確保	事業承継 (相談) 支援数 (累計)	○	0件	10件	0件	3件	3件相談支援を行ったが、事業承継解決は0件。	A-supo相談業務にて支援機関と連携し、事業者の個別ケースに合わせた取組を行っている。	観光経済課
創業支援	A-supo熱海市チャレンジ応援センター (旧A-biz) の伴走型支援による創業及び新分野進出数	○	9件	10件	8件	4件	A-supoによる創業実績4件/相談14件、新分野進出実績0件/相談8件	創業・新分野進出とともに、相談継続中案件について実績に繋げるとともに、創業・新分野進出がゴールではなく、その後の事業継続についても引き続き支援を実施していく。	観光経済課

基本目標3. 新しい人の流れをつくる

施策名	重要業績評価指標 (KPI)	前期計画	当初値	目標値	実績値【R3】	実績値【R4】	令和4年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
(1) 39歳以下の社会減を50%削減 (2019年 173人)									
新たな働き方の創出	サテライトオフィスの設置企業数 (累計)		0件	5件	0件	0件	ワーケーション施設等環境整備促進事業費補助金の交付要綱改正によりサテライトオフィスを対象外としたことから、設置企業数把握について個別の情報収集に頼らざるを得ない状況となっている。	サテライトオフィスを含めた企業誘致について、検討を継続する。	観光経済課
滞在人口の増加	RESAS地域経済分析システム 滞在人口率 (平日 14時)		1.35倍 (年平均)	1.40倍 (年平均)	1.31倍 (年平均)	1.33倍 (年平均)	観光ブランドプロモーションほか	新しい旅のスタイルに適応した誘客施策の促進	企画財政課 観光経済課
ふるさと納税の寄附者数の増加	ふるさと納税の寄附者数		1,707人	2,000人以上 (毎年)	18,672人	4,711人	令和3年伊豆山土石流災害への支援に係る寄附が大きく減少したが、新規ふるさと納税ポータルサイトの開設等による寄附者数増加の取組を行った。	魅力的な返礼品の追加に加え、ふるさと納税ポータルサイトの新規開設などにより寄附者増を図っていく。	企画財政課

基本目標4. 若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

施策名	重要業績評価指標 (KPI)	前期計画	当初値	目標値	実績値【R3】	実績値【R4】	令和4年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
(1) 合計特殊出生率 1.22 ⇒ 1.35									
産み育てやすい子育て環境の充実	子育てを楽しみと感じる方の割合		71.5%	75%	次回調査は令和5年度実施のため測定不能	次回調査は令和5年度実施のため測定不能	地域子育て支援拠点事業として、親子ふれあいサロンを1箇所、子育て支援センターを2箇所設置し、親子が交流するための事業を実施した。コロナウイルス感染症拡大の影響により中止や規模等を縮小して開催した。	引き続き、地域子育て支援拠点事業を実施し、子育て世帯を支援する事業を実施する。	社会福祉課
就労支援	保育園及び放課後健全育成事業の待機児童0人の継続		0人	0人	0人	0人	保育士確保に努めたうえで、入所希望に即した適正な職員配置を行った。	引き続き適正な職員配置に努める。	学校教育課

基本目標 5. 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

施策名	重要業績評価指標 (KPI)	前期計画	当初値	目標値	実績値【R3】	実績値【R4】	令和4年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
(1) 生活全般の満足度 50.0% (2019年度 43.7%)									
安全・安心のまちづくり	地域での人との関わりについて「満足」、「やや満足」と答えた方の割合		40.9%	50%	52%	47%	自主防災会における防災資機材等の整備が進み、自助・共助の取り組みが浸透している。	令和3年7月伊豆山土石流災害により、地域の安全性について不安を抱える人が多くなったと推察される。警戒避難体制や自助・共助の取り組みの周知を図る。	危機管理課
住みやすさの追求	公共施設の充足度（施設の数、種類、利用のしやすさ等）における「満足」、「やや満足」と答えた方の割合		20%	30%	市民アンケート未実施のため実績値なし	19.8%	公共施設個別施設アクションプラン（第Ⅰ期）の検証を踏まえたアクションプラン（第Ⅱ期）の策定	公共施設個別施設アクションプラン（第Ⅱ期）に沿った施設改修	総務課
健康で生きがいのある暮らしの確保	お達者度の向上	○	男性17.54 女性20.96	男性17.69 女性21.03	男性17.93 女性21.20	男性17.87 女性21.35	保健部門・後期高齢者医療部門と連携し、医療と介護予防の一体的事業を実施。KDBを活用し、医療費分析からハイリスクアプローチとポピュレーションアプローチを実施。健康状態不明者をリスト化し、訪問による健康状態の把握。関係機関へのつなぎを実施。通いの場である地域サロンに関与し、フレイル予防や食生活改善に取り組んだ。就労支援（相談会）をで行い、個別相談会及び就業セミナーを開催。半数以上の参加者が就労や地域活動の参加に繋がった。	保健事業と介護予防の一体的実施は、更に拡充して実施。健診の受診率向上とともに、フレイル予防や、高齢者の認知症予防・フレイル予防に取り組む。地域へ出向く出前講座の充実として、認知症予防・自殺対策などを実施。健康まつりや福祉まつりなどの機会に健康・介護予防についての講演会や、地域医療講座（IKC）など実施。移動販売の活用による地域との交流や運転ボランティアによる移動支援の仕組み作りに取り組む。	長寿介護課